

水 稻 用 初 ・ 中 期 一 発 処 理 除 草 剤

ゼータタイガー[®] フロアブル



クログワイに底力!!

本剤は(公財)日本植物調節剤研究協会での
A-1S区分:難防除雑草一発処理(クログワイ)で
判定を取得しています。

雑草、一撃。

プロピリスルフロ
ン
プロモブチ
ド
ペントキサゾ
ン

3成分

無人航空機散布
が可能

直播水稻にも
使用可能

- ◆ 3成分の一発処理除草剤
- ◆ 高葉齢のノビエ(3葉期)を始め
SU抵抗性雑草に優れた効果
- ◆ 多年生難防除雑草クログワイに
高い効果



処理区



無処理区

クログワイへの除草効果(処理39日後)

2015年 住友化学(株) 社内試験 ※写真は1キロ粒剤によるものです。



ノビエ



ホタルイ



コナギ



アゼナ

ゼータタイガー[®]フロアブル

- ◆ 3成分の一発処理除草剤（プロピリスルフロンの、ペントキサゾン、プロモブチド）
- ◆ 高葉齢のノビエ（3葉期）を始めSU抵抗性雑草に優れた効果
- ◆ 多年生難防除雑草クログワイに高い効果



適用と使用方法

2020年4月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ、ウリカワ エゾノサヤヌカグサ オモダカ、クログワイ コウキヤガラ、シズイ ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	500mℓ/ 10a	1回	原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			原液湛水散布 又は 無人航空機 による滴下

主要雑草に対する使用適期

ウリカワ	3葉期まで (直播水稲は2葉期まで)
ヘラオモダカ ホタルイ	3葉期まで
ミズガヤツリ	4葉期まで (直播水稲は3葉期まで)
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前まで



Sokojikara
クログワイに底力!!

本剤は(公財)日本植物調節剤研究協会での
A-1S区分:難防除雑草一発処理(クログワイ)で
判定を取得しています。

プロピリスルフロンの含む農薬の総使用回数 2回以内	プロモブチドを含む農薬の総使用回数 2回以内	ペントキサゾンの含む農薬の総使用回数 2回以内
------------------------------	---------------------------	----------------------------

上手な使い方〔散布量/500mℓ(1本)〕

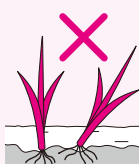
均平化作業・植付けはていねいに!

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・葉害の原因になります。



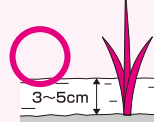
移植深度は適正に!

極端な浅植では根が露出し葉害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



散布時の注意!

散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。



散布後の注意!

散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意事項

- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水と共に水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意してください。
- 無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ってください。
 - ① 滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ② 滴下に当っては散布装置のノズルを使用しないでください。
 - ③ 作業中、薬液が漏れないように装置の十分な点検を行ってください。
 - ④ 隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は無人航空機による本剤の滴下は行わないでください。
 - ⑤ 水源地、飲料用水などに本剤が飛散、流入しないよう十分留意してください。
 - ⑥ 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
 - ⑦ 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 使用後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、使用後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 稲の根が露出する条件下では葉害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ① 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)
 - ② 軟弱な苗を移植した水田 ③ 極端な浅植えの水田
- 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえてください。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

02R4D20Z15:ZS

2020年4月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト **いぬり** <https://www.i-nouryoku.com>

